



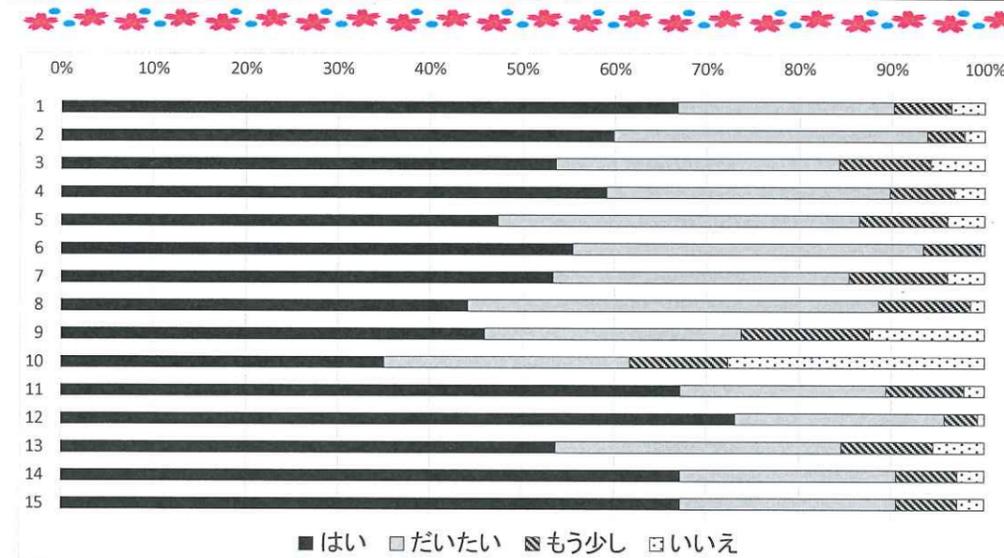
保護者・地域みなさま、本校の学校教育にいつもご理解とご協力ありがとうございます。
12月に実施した(児童・保護者・教職員・地域)アンケートの集計ができました。分析した結果をお知らせいたします。



～学校アンケートの結果(児童・保護者)～

児童集計

1	学校生活は楽しいですか。	9	悩みやこまっていることを相談できていますか。
2	学校での学習はよくわかりますか。	10	小学校と中学校で一緒にいるいろいろな取組をすすめていることを知っていますか。
3	将来の夢や希望をもって学習できていますか。	11	外で元気に体を動かしていますか。
4	GIGA端末を調べ学習や様々な活動に使うことができますか。	12	安全に気を付けて生活できていますか。
5	家庭学習に進んで取り組んでいますか。	13	好き嫌いをせずにバランスよく食べていますか。
6	学校のきまりや社会のルールを守っていますか。	14	学年2人(3人)の先生が担任であることで、学校生活は過ごしやすくなりましたか。
7	自分から挨拶をしていますか。	15	先生が教科ごとに代わる授業は、わかりやすかったですか。
8	他の人を思いやった言動ができていますか。		



●設問5の「家庭学習」については、前回のアンケートにおいても「はい」「だいたい」の回答率が85%を超えています。特に、自主学習ノートは、各学年力を入れて取り組んでおり、学年独自の賞を設定したり、優秀な自主学習ノートをスクリーンで紹介したりしています。また、校内においても、朝会など全校児童が集まる集会で、各学年の自主学習の取組を紹介することで、児童のモチベーションも高まってきたと感じています。

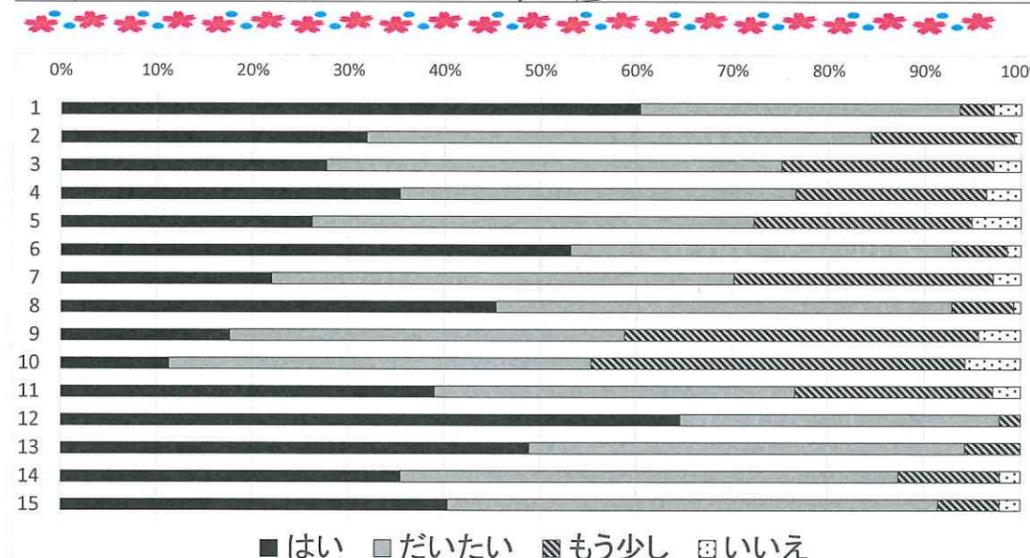
●設問11では、「はい」「だいたい」の回答が9割近くとなりました。12月に体育委員会主催で、「大なわとび大会」を行いました。どの学年も、体育の時間はもちろん、休み時間にも熱心に練習する姿が見られ、多くの友達と目標をもって運動する楽しさを感じていました。一人では取り組みにくい運動も、集団で取り組むことで楽しさを実感し、さらなる体力向上につなげていければと思います。

●設問9では、前回に比べ、「もう少し」「いいえ」の回答が7ポイントほど増えていました。2学期は、学習面でも難しい内容になりつまづきを感じたり、生活面においても友達との関係が深まっていくことで生じる人間関係の悩みや困りも増えてくる時期であると思います。学校においては、日々の子どもたちの様子を観察することに加え、アンケートなどを実施し常に児童の困りや悩みに寄り添うことができるように引き続き努力して参ります。また、保護者の皆様との連携を密にすることで、児童のわずかなサインを見逃さないように指導していきたいと思っています。

保護者集計



1	お子さんは、安心して、楽しく登校することができていると思われませんか。	9	お子さんが悩みや困りに対して学校に気軽に相談できていると思われませんか。
2	お子さんは学習内容がよくわかっていると思われませんか。	10	小中が連携して教育活動に取り組んでいると思われませんか。
3	お子さんは夢や目標をもって活動できていると思われませんか。	11	お子さんは、外で元気に体を動かしていますか。
4	お子さんは、学習や各種教育活動にGIGA端末等のICT機器を活用していると思われませんか。	12	お子さんが、安全に生活できるように声かけをされていますか。
5	お子さんは、家庭学習に取り組んでいると思われませんか。	13	お子さんが、バランスの良い食事をとるように心がけていますか。
6	お子さんは、学校のきまりや社会のルールを守れていると思われませんか。	14	お子さんにとって、チーム担任制は、よりよいものだと思いますか。
7	お子さんは、自分からすすんで挨拶ができていると思われませんか。	15	お子さんにとって、教科担任制は、よりよいものだと思いますか。
8	お子さんは、他者を大切に、仲良く過ごすことができていると思われませんか。		



●設問3では、前回と比べ、「はい」「だいたい」が5ポイントほど増えました。2学期は「運動会」や「学習発表会」など、学年や学級で力をあわせて目標に向かって取り組む場面が多かったように思います。本校では、この大きな学校行事をキャリア教育を進めて行く上でチャンスととらえており取り組む際には、毎時間「なりたい自分や目標」についてのふり返りを残しておくことで、学習に取り組む前後で、自分が成長し変容していることを自覚できるようにしています。そうした学習の積み重ねを今後も大切にしていきたいと思っています。

●設問5では、前回と比べ、「もう少し」「いいえ」が5ポイント増えていました。児童の回答では、「はい」「だいたい」が85%を超えています。保護者の回答では、「はい」「だいたい」が72%ほどにとどまっています。この結果から、児童にとっては取り組んでいると思うことも、保護者の方からすると「もう少し」と感じられることが多いようです。家庭学習に取り組んでいる時間が短いと感じられている保護者の方もおられるようです。家庭学習に取り組む時間を児童と話し合っていたり、その内容や成果物を確認していただいたりする中で、各家庭にあった家庭学習のあり方を考えていただければと思います。

●設問14・15については、前回同様「はい」「だいたい」が90%近くで回答していただいています。「教科担任制」については、児童・保護者ともに一定の理解を得ているかと思っています。一方で「チーム担任制」については、学級担当を置いていることで、他の学年の先生には相談はしにくいというご意見もありました。確かに本来、学級という垣根を取り払いチームで学年一人一人の児童をみていくというのが「チーム担任制」の趣旨ではありますが、急な変化による児童や保護者の皆様の不安とならないように、学校としては今後も段階的に「チーム担任制」を進めて参りたいと考えています。

音羽小学校は、市民ぐるみ・地域ぐるみの教育の核としての学校をめざしています

京都市では、今日に至る教育改革の柱として、徹底して「開かれた学校づくり」を推進してきました。これは、学校と家庭・地域との相互の信頼と協働の関係を構築する基盤となっています。今後も、保護者・地域の方々へ参画いただき市民ぐるみ・地域ぐるみの教育を展開していきます。変化の激しい現代社会において、子どもたちが夢と希望をもって未来を切り拓いていけるよう、「生きる力」を育み、社会全体で子どもたちの教育に取り組んでいくことが大切です。子どもたちの豊かな学びと育ちのために、なおいっそうのご理解・ご協力をどうぞよろしくお願いいたします。

特集 学校評価 (2)

学校教育目標

「夢と希望にむかって光り輝く音羽の子」
～よりよい未来を創造しようとする子の育成～

保護者・地域のみならず、本校の学校教育にいつもご理解とご協力ありがとうございます。
12月に実施した(児童・保護者・教職員)アンケートの集計ができました。分析した結果をお知らせいたします。

～学校アンケートの結果(教職員・地域)～

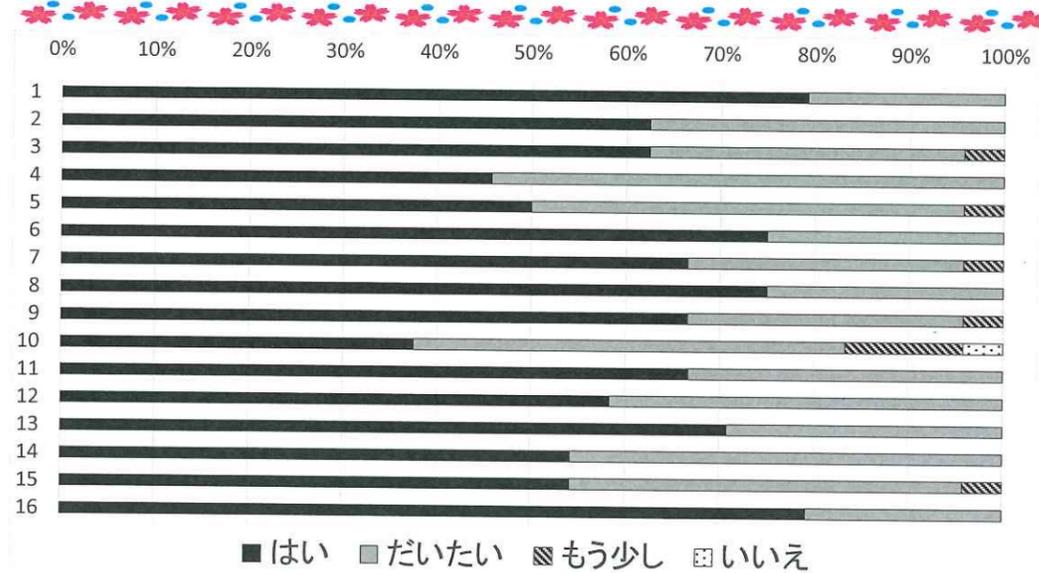
教職員集計

1	児童一人一人を大切に、安心して学校生活を送れるような環境づくりができていると思いますか。	9	児童・保護者の訴え(アンケート結果を含む)や相談内容を共有できていると思いますか。
2	教材や指導法を工夫し、わかりやすい授業を行うことができていると思いますか。	10	小中が連携して教育活動に取り組んでいると思いますか。
3	将来の夢や希望をもてるようなキャリア教育を行うことができていると思いますか。	11	体力向上の取組を意識して進めることができていると思いますか。
4	学習や各種教育活動にGIGA端末等のICT機器を活用させることができていると思いますか。	12	安全教育の充実ができていると思いますか。
5	児童に自学自習の力を身に付けさせることができていると思いますか。	13	健康教育・食育に力を注いでいますか。
6	児童に学校のきまりや社会のルールを守るように指導できていると思いますか。	14	チーム担任制により、教育的な効果がありましたか。
7	児童に挨拶の習慣を身に付けさせることができていると思いますか。	15	教科担任制により、教育的な効果がありましたか。
8	児童の誤った言動に対しては、素早く対応し指導していると思いますか。	16	全教職員が学校いじめ防止等基本方針の内容を理解し、組織的対応に努めていると思いますか。



地域集計

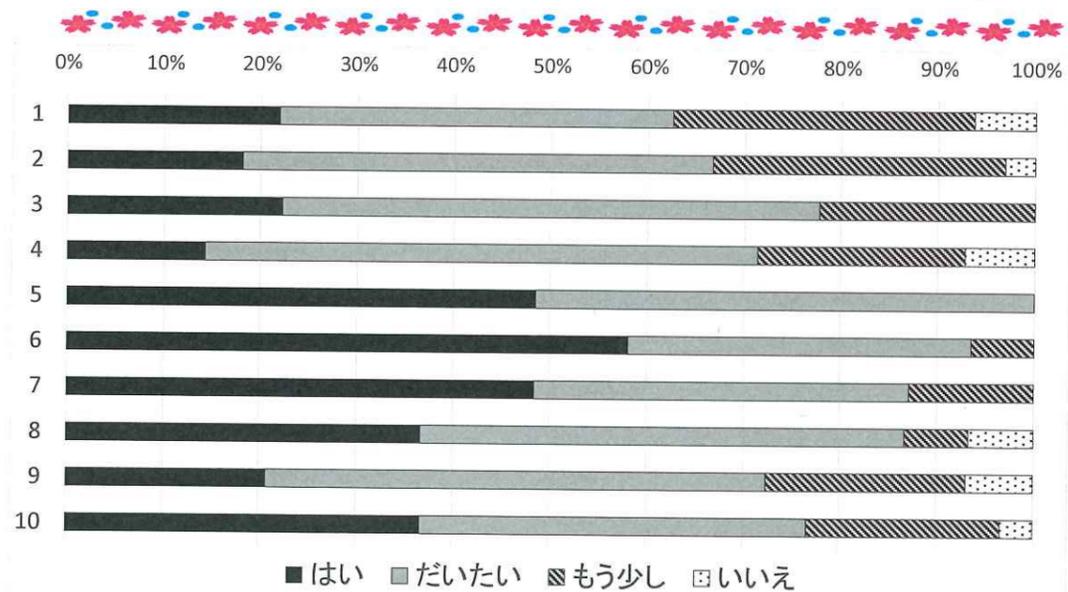
1	子どもたちは、あいさつをしていますか。	6	教職員は、率先して地域の方にあいさつをしていますか。
2	子どもたちは、登下校時や放課後、休日に交通ルールを守り、安全に過ごすことができていると思いますか。	7	学校は、安心・安全な場所になっていると思いますか。
3	子どもたちは、進んで地域行事に参加していますか。	8	学校は、環境整備や美化活動に取り組んでいますか。
4	学校教育のねらいが伝わっていますか。	9	学校が中心となって、地域・PTAと連携が取れていますか。
5	学校だより・学校ホームページ等を通して、学校の様子が伝わっていますか。	10	学校は、地域を大事にし、地域の方が学校の行事に参加しやすい取組ができていると思いますか。



●設問4では、「はい」「だいたい」の回答で100%でした。この数年で、GIGA端末等のICT活用は、教職員・児童にとって「特別なもの」から「日常的なもの」へと変わり、授業においても、「児童主体の活用」へ変わり、本校においても教育の情報化が大きく進んでいます。GIGA端末が児童にとって身近なものになり使いこなせる技能が着実に身についてきている一方で、情報モラルに関わるトラブルに巻き込まれる危険性もあります。今後も、デジタルならではの強みを生かした学習活動を充実させるとともに、情報モラルの指導にも力をいれていきたいと思ひます。

●設問12では、「はい」「だいたい」の回答で100%でした。毎月15日の「学校安全の日」に学校では、安全ノートを活用して安全指導を進めたり、教職員は、学校設備や環境の安全点検を行っています。2学期には、不審者を想定した「避難訓練」を行い、具体的な避難の仕方を教職員・児童ともに周知しました。さらに、運動場での落下事故を想定した緊急時の対応についても教職員は訓練を行っています。今後も、子どもたち一人一人の命を守るために安全指導を進めていきます。

●設問14・15の「チーム担任制」や「教科担任制」では、複数の目で、多くの児童の様子を見て共有し指導していくことには一定の成果は感じているものの、複数の教員が指導していくための、ルールやきまりなどの指導の一貫性や児童の情報共有する時間の確保などに課題を感じている教員が多いです。



●設問3では、前回よりもさらに「はい」「だいたい」の回答が5ポイント増えていました。学校でも、地域行事に参加したことを楽しかったと話している児童もいます。今後も地域社会の中で、多くの方と出会い、学ぶ機会を作ってほしいと思ひます。

●設問4では、前回よりも「もう少し」「いいえ」の回答が10ポイント減少していました。関連して、設問9や設問10も5ポイント近く改善に向かっていきます。コロナ禍が明け、地域の方にお世話になって実施していた学習や行事も実施できるようになったことで、児童の学習の様子を、地域の方に見ていただける機会が徐々に増えてきたことで、学校の教育のねらいについても、ご理解いただくことにつながっているのではないかとと思ひます。今後も、地域の方と一緒に協働して学習する場を学校としても意図的に作ることで、地域の皆様とともに子どもたちを育む「開かれた学校」を推進していきたいと思ひます。

●設問7では、「もう少し」「いいえ」の回答がありませんでした。見守り隊さん、老人会の皆さん、PTA地域委員さん、など多くの方が登下校時に児童の安全を守るために見守り活動していただいているおかげで大きな事故がなく安心して登下校できています。教職員も学校が安全・安心な場所であり続けるために、研修を重ねていきたいと思ひます。

学校評価を ふりかえって

～2学期学校評価アンケートにご協力いただき、ありがとうございました～
結果から、音羽小学校の教育が地域の皆様・保護者の皆様のご理解と温かな見守りに支えられていることを再確認するとともに、本校の課題も明らかにすることができました。
学校教育目標『夢と希望にむかって光り輝く音羽の子』～よりよい未来を創造しようとする子の育成～の具現化をめざし、取組を進めて参りたいと思ひます。これからも、ご理解・ご支援をよろしくお願いいたします。

